

2025年度 新潟産業大学大学院 学生募集要項

◆ ミッションとアドミッションポリシー

○ミッション（社会的使命）

『地域社会や企業を主体的に力強く支える人材の育成』

○アドミッションポリシー（入学者受入方針）

〈大学院が求める人物像〉

1. 自立と自分を高めることに意欲のある人
2. 自らを取り巻く社会の仕組みと変化に関心のある人
3. 地域の経済や文化活動に興味があり、その継承、維持、発展に貢献したいと考える人
4. 学部レベルでの経済学・経営学に関する基礎的な地域を保有し、
学部で受けた教育を更に発展させ、高度な専門的知識の修得を目指す人
5. 本研究科の3つの学問領域に関わる興味と学習意欲のある人

1. 募集人員

研究科・専攻および授与される学位	募集人員（全入試区分合計）
経済学研究科 経済分析・ビジネス専攻 「修士（経済学）」	10名

2. 入試区分および出願資格

(1) 一般入学試験

次のいずれかに該当する者。

- ① 大学を卒業した者および2025年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 文部科学大臣の指定した者
- ⑤ その他、本大学院が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(2) 社会人入学試験

上記(1)の出願資格のいずれかに該当する者で、入学予定時において社会人として1年間以上の就業経験がある者。

※社会人の場合は、長期履修学生制度（P5参照）が利用できます。

(3) 外国人留学生入学試験

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者。

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ② 外国人留学生として日本の大学を卒業した者および2025年3月31日までに卒業見込みの者
- ③ その他、本大学院が大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3. 入学検定料 30,000 円

※ネット出願時に、口座振込またはクレジット決済のどちらかを選択することができます。(振込先：第四北越銀行 柏崎中央支店 普通 575607)

4. 出願方法および出願先

(1) 出願方法

ネット出願となります。

一部、郵送が必要な書類がありますので、「5.出願書類および注意事項」を参照し、各自で用意した角2封筒に同封の宛名用紙(色付き箇所は必ず記入)を貼付し、「特定記録速達」で郵送してください(必着)。

受験票は、ネット出願時に生成されるマイページから印刷できますので、試験当日お持ちください。

(2) 出願先

〒945-1393 新潟県柏崎市軽井川 4730

新潟産業大学 入試課 大学院入試係

電話：(0257) 24-4901 FAX：(0257) 21-6050

5. 出願書類および注意事項

出願書類	入試区分			内 容
	一般	社会人	外国人	
【入学願書】	ネット	ネット	ネット	・検定料は銀行振り込みまたはクレジット決済が可能です。 ・志望指導教員は、大学院案内やホームページを参照。
【写真票】	ネット	ネット	ネット	
【受験票】	ネット	ネット	ネット	
【志望理由書】	ネット	ネット	ネット	ネット出願ページのフォームに入力してください
【研究計画書】	ネット	ネット	ネット	ネット出願ページのフォームに入力してください
【承諾書】	—	○	—	・在職中の者のみ(入学予定時に退職予定の場合は不要)。 ・所属する機関(企業)の所属長が作成。
卒業(見込)証明書	○	○	○	・当該大学長、学部長等が作成したもの。
成績証明書	○	○	○	・当該大学長、学部長等が作成したもの。 ・一般および社会人入学試験の出願資格②に該当する者は基礎資格となる当該短期大学又は高等専門学校等の学校長が作成した成績証明書および基礎資格に該当した後に修得した単位に係る成績証明を提出。
学位授与証明書	○	○	—	・出願資格(1)②に該当する人は、大学評価・学位授与機構による学位授与証明書を提出。
住民票	—	—	○	・居住する市区町村役場で発行される住民票(在留資格、在留期間が明示されたもの)を提出。
日本語能力を証明する書類	—	—	○	・(財)日本国際教育支援協会の日本語能力試験N1の成績通知書(写し)又は日本語学校の成績証明書等。 (本学卒業の外国人留学生は不要)
健康診断書	—	—	○	(本学卒業の外国人留学生は不要)

【 】内の書類は所定の用紙を使用すること

6. 出願上の注意事項

- (1) 外国語により作成された書類は、必ず日本語訳を添付してください。
- (2) 各種証明書類（写真・健康診断書含む）は、すべて発行日より3ヶ月以内のものに限ります。
- (3) 入学検定料を現金・為替等により、送金または持参しても受理しません。
- (4) 一度提出した書類および入学検定料は、理由のいかんにかかわらず返還には応じません。
- (5) 受け付けた書類に、後日、虚偽の事実が発見された場合、入学を取り消します。
- (6) 身体に障がいのある者で、受験上特別の配慮を希望する場合は、出願前に十分余裕をもって入試・広報課に相談してください。

7. 入学試験日程および試験会場

	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間	試験会場
第1回	2024年9月9日(月) ～9月27日(金) 必着	2024年 10月5日(土)	2024年 10月11日(金)	2024年10月15日(火) ～10月25日(金)	新潟産業大学
第2回	2025年1月10日(金) ～1月31日(金) 必着	2025年 2月8日(土)	2025年 2月14日(金)	2025年2月17日(月) ～2月28日(金)	

※当日は、受験票をご持参ください。

8. 選抜方法 入学試験と提出書類等を総合して合否を判定します。

9. 試験科目および時間割（各回とも共通）

入試区分	時 間	試験科目	配点	合計点
一 般	9：30～10：30	英 語	100点	250点満点
	10：50～11：50	専門教科	100点	
	12：30～	面 接	50点	
社 会 人	10：50～11：50	小 論 文	100点	150点満点
	12：30～	面 接	50点	
外国人留学生	10：50～11：50	専門教科	100点	150点満点
	12：30～	面 接	50点	

※専門教科は、経済・経営のいずれかの分野を選択し、解答してください。

選択する分野は、希望する指導教員の属する分野（P7下表参照）を必ず選択してください。異なった分野を選択した場合は、採点の対象外となります。

10. 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、試験開始の10分前までに試験室に入室してください。
- (2) 試験開始20分以後の遅刻は認めません。
- (3) 英語については英和辞典持込可とします（電子辞書は不可）。
- (4) 計算機能・翻訳機能のついた時計・文具・携帯電話・スマートフォン等の使用は認めません。
- (5) 試験時間中に退出することはできません。但し身体の不調等で試験に耐えられない場合は、監督者に申し出て指示に従ってください。
- (6) 試験中は受験票を机の上に置き、監督者の指示に従ってください。
- (7) 試験当日は必ず受験票を持参してください。失念・紛失した者は、当日係員に申し出て仮受験票の交付を受けてください。
- (8) 学生食堂は営業しません。昼食が必要な場合は各自で用意してください。
- (9) 試験日前日の宿泊が必要な場合は、受験者各自で手配してください。

11. 合格発表

- (1) 選考結果は受験者に対して郵便で通知文書を発送します。また、ネット出願時に生成されるホームページでも確認できます。
- (2) 合格者には合格通知とともに、入学手続書類を送付しますので、入学手続期間内に手続を行ってください。
- (3) 合格発表についての電話等による問い合わせには応じません。

12. 入学手続および学納金

2025年度入学者の初年度学納金および2年次の学納金について

(一般)

(単位：円)

	入学手続時	秋学期(10月)	年額	2年次の学納金
入 学 金	210,000	—	210,000	—
授 業 料	250,000	250,000	500,000	500,000
施設設備資金	25,000	25,000	50,000	50,000
計	485,000	275,000	760,000	550,000

(新潟産業大学卒業者)

(単位：円)

	入学手続時	秋学期(10月)	年額	2年次の学納金
入 学 金	105,000	—	105,000	—
授 業 料	250,000	250,000	500,000	500,000
施設設備資金	12,500	12,500	25,000	25,000
計	367,500	262,500	630,000	525,000

- ・入学手続期間内(P3参照)に本学指定振込用紙を用いて、本学指定金融機関へ納付してください。なお、年額を一括して納付することもできます。
- ・上記納付金のほかに、入学手続時に生活総合保険料(2年分)がかかります。※留学生の場合
- ・入学手続完了後に入学を辞退する場合は、入学辞退通知書および学納金返還請求書を2025年3月

24日(月)必着で提出した者に限り、入学金を除く学納金を返還します。

●長期履修学生制度

社会に出ると、様々な場面で「学び」の大切さを実感し、「学びたい」、「学びなおしたい」と思うことがあります。

この制度は、そんな職業や家事に従事しながら学びたいと願う方々が、自分のライフスタイルに合わせて、無理なく長期に履修計画を立て学ぶことができる制度です。

また、学納金も2年分の総額を、最長2年間延長して分割納入(下表参照)できますので、経済的な負担も軽減できます。

長期履修学生制度を利用した場合(30単位の科目を履修し修得した場合)

3年計画		1年次	2年次	3年次		合計
	入学金	210,000				
施設設備資金	34,000	33,000	33,000	33,000		100,000
授業料	330,000※	330,000※	330,000※	330,000※		990,000
合計	574,000	363,000	363,000	363,000		1,300,000
4年計画		1年次	2年次	3年次	4年次	合計
	入学金	210,000				210,000
施設設備資金	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	100,000
授業料	264,000※	264,000※	264,000※	264,000※	198,000※	990,000
合計	499,000	289,000	289,000	289,000	223,000	1,300,000

※33,000円×履修登録単位数

●経済学研究科（修士課程）経済分析・ビジネス専攻の概要

新潟産業大学大学院（修士課程）経済学研究科 経済分析・ビジネス専攻は、地域社会の指導的産業人や自治体職員、そして中等教育機関における指導的教員など、地域社会の発展を担う人材の養成に加え、すでに社会のさまざまな分野で活躍する社会人への再教育、地域住民への生涯教育のために、高度な学習・研究機会を提供します。そして、2年間の教育課程において、地域の指導的立場となる人材に求められる「状況判断能力」「意思決定能力」「マネジメント能力」の向上に資するための教育提供を目的とした「実践志向型」大学院です。

修了者には「修士（経済学）」の学位が授与されます。

●カリキュラム表

授 業 科 目		配当年次	単位数	
			必修	選択
経済領域	ゲーム理論特論	1・2		2
	ミクロ経済学特論Ⅰ・Ⅱ	1・2		2・2
	マクロ経済学特論Ⅰ・Ⅱ	1・2		2・2
	財政学特論	1・2		2
	金融論特論Ⅰ・Ⅱ	1・2		2・2
	国際金融特論Ⅰ・Ⅱ	1・2		2・2
	国際経済学特論Ⅰ・Ⅱ	1・2		2・2
	産業政策特論	1・2		2
	産業特論	1・2		2
	開発経済学特論Ⅰ・Ⅱ	1・2		2・2
	経済史特論Ⅰ・Ⅱ	1・2		2・2
	中国経済特論	1・2		2
社会情報分析領域	経済数学特論	1・2		2
	統計学特論	1・2		2
	応用統計分析特論	1・2		2
	計量経済学特論	1・2		2
	社会調査・社会データ解析演習	1・2		2
	OR・シミュレーション演習	1・2		2
	社会学特論	1・2		2
マネジメント領域	経営情報システム論	1・2		2
	経営組織特論	1・2		2
	財務会計特論	1・2		2
	経営管理特論	1・2		2
	流通システム特論	1・2		2
	経営史特論	1・2		2
	起業論特論	1・2		2
	管理会計特論	1・2		2
	国際経営特論	1・2		2
	国際マーケティング特論	1・2		2
	コーポレート・ガバナンス特論	1・2		2
共通科目	経済学外書研究	1・2		2
演 習	演習Ⅰ	1	4	
	演習Ⅱ	2	4	

履修要件：修士論文または特定課題研究の作成を行うためには、社会情報分析領域の科目群から2単位以上を修得しなければならない。

修士課程修了要件：修士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、修士論文または特定課題研究の審査に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた業績をあげた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

●大学院担当教員の専門分野と研究テーマ（2025年度）

職名	教員名	研究領域	研究テーマ
教授	安達 明久	経営学、経営法務	東アジアにおけるビジネス文化と解雇法制の比較分析、および長寿高業績企業の経営分析
教授	阿部 雅明	環境経済学、国際経済学	地球環境問題に配慮した国際貿易、経済成長のあり方
教授	今村 英明	経営学	B2B マーケティング、経営人材育成、企業変革マネジメント
教授	大石 友子	起業、ベンチャー企業、人材開発	起業家創出のための支援制度および起業志向人材の育成について
教授	高橋 成夫	経営学	環境経営戦略の研究、変革型リーダーシップの研究
教授	橋本 次郎	計量経済・統計分析	VAR モデルによる予測研究
教授	青木 隆明	マクロ経済学、国際経済学、行動経済学、	双方向の利他主義、国際経済システム
教授	江口 潜	ミクロ経済学、労働経済学、経済理論	寡占理論、日本の企業の内部労働市場の賃金体系
准教授	内橋 賢悟	経済史、アジア経済論、開発経済学	アングロサクソン型市場主義の対アジア「制度移植」に関する研究
講師	黒岩 直	マクロ経済学、貨幣理論、失業理論	貨幣経済の特徴付けや、その挙動についての研究

※上表の内容は今後、変更の可能性あります。

下記の教員一覧の中から、志望する指導教員を選び（第一志望・第二志望）、出願書類の該当欄に記入してください。※第一希望と第二希望は、経済系または経営系で統一してください。		
指導教員名	経 済	・阿部 雅明 ・橋本 次郎 ・青木 隆明 ・江口 潜 ・内橋 賢悟 ・黒岩 直
	経 営	・安達 明久 ・高橋 成夫

※選択可能な指導教員は今後、変更の可能性あります。